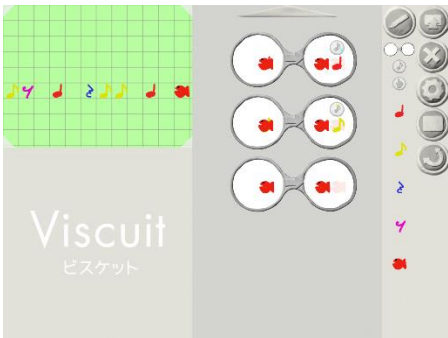
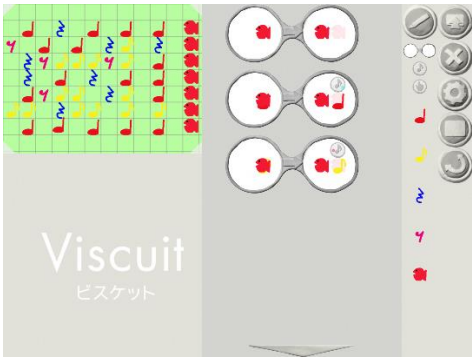


小学校プログラミング教育実施レポート

令和2年度から必修化された小学校プログラミング教育の実施の様子を紹介するものです。
未来の学びコンソーシアムにて実施内容の精査を行うものではありません。

学習活動名	音の長さでリズムをつくろう
学年	小学校第2学年
目標	四分音符・四分休符・八分音符・八分休符の長さを感じながら、リズムの感覚を養う。
教材タイプ	ビジュアル言語
使用教材	Viscuit
環境	児童16名で16台のiPadを使用
都道府県	東京都
実施校	三宅村立三宅小学校
学習活動の概要・児童の様子(プログラミングの活動を中心に記載ください。)	<p>四分音符・四分休符・八分音符・八分休符の音の長さを確認する。 Viscuitでの作例を見せる。</p>  <p>四分音符・四分休符・八分音符・八分休符が使うマスを確認する。 音符の組み合わせからリズムづくりに取り組む。 さらにできそうなことを考える。 (例) 組み合わせを増やす。 四分音符や八分音符を基にした絵を使う。</p>  <p>作ったプログラムを紹介し合う。</p>
成果と課題	音の長さについて視覚的に捉えることで、四分音符と八分音符について理解が深まった。 音の組み合わせやリズムの組み合わせをもっと時間をかけて調べてみたいという児童の声もあった。